



# ～ リオ・サミットから20年 ～ 持続可能な開発に関する国際イニシアチブと 今後の挑戦：欧州連合(EU)と日本の見解

20 years after Rio - International Initiative for Sustainable Development : Perspectives from EU and Japan

日時	2010年9月10日(金) 10:30 - 12:20
会場	ホテルニューオータニ ザ・メイン 宴会場階 芙蓉西の間
主催	日欧産業協力センター
後援	駐日欧州連合代表部
参加	無料 (定員 200名 要事前登録)
言語	英語・日本語 (英日同時通訳あり)

1992年にリオ・デ・ジャネイロで「環境と開発に関する国連会議 (United Nations Conference on Environment and Development: UNCED) (通称「国連地球サミット」または「リオ・サミット」)」が開催されてから20年が経とうとしている。同サミットは、「リオ・デ・ジャネイロ宣言」やこの宣言の諸原則を実施するための行動計画である「アジェンダ21」、「森林原則声明」などの成果を生んでおり、さらには「気候変動枠組条約」と「生物多様性条約」が提起され署名が開始された場でもあった。同サミット開催後に「生物多様性」といった用語が各国主要機関に認知され、一般にも知られるようになり、さまざまな地球環境問題や生態系、絶滅危惧種等に対する一般の関心が高まる契機ともなった。このリオ・サミットから20年の成果と進行状況を

振り返り、さらなる行動と進展の協議を目指した「持続可能な開発に関する国連会議 (United Nations Conference on Sustainable Development : UNCSD)」が2012年に開催される。同会議の主要議論テーマとしては、「持続可能な開発と貧困対策におけるグリーン経済」、「持続可能な開発のための組織・枠組み」、「持続可能な開発に関わる過去の国際会議の結果とその達成状況の再考」などが挙げられている。

本セミナーでは、欧州委員会環境総局のトップをお迎えし、リオ・サミットから20年の課題とこれからの挑戦について、欧州連合(EU)の見解をお話頂く。また、日本政府からもご講師をお招きし、同テーマに対する日本の見解もお伺いする。

## ■プログラム

10:30 開会の挨拶・進行: 日欧産業協力センター 事務局長 ジュリアン・ゲリエ 氏

10:40 「リオ・サミットから20年: EUの見解」  
講師: 欧州委員会 環境総局長 カール・ファルケンベルグ氏

11:10 「リオ・サミットから20年: 日本の見解」  
講師: 環境省 地球環境審議官 南川 秀樹 氏

11:40 質疑応答

12:20 閉会の辞 日欧産業協力センター 事務局長 ジュリアン・ゲリエ 氏

■ 申込み: 本用紙にご記入の上、FAX(03-3221-6226)または Email([seminar@eu-japan.gr.jp](mailto:seminar@eu-japan.gr.jp))でお申込みください。

氏名	
会社 Company name in English (if available)	
部署	役職
Tel	Fax
Email	